

## 今後の授業と補講について

今後、今学期のうちに、正規の時間に授業が行われるのは、7月9日、16日の2回です。休講はしていないので、補講はしない予定です。

## レポートについて

この科目の評価は、レポートの成績に、レスポンスシートなどによる問題点の指摘などを踏まえたボーナス点を加味して評価します。出席点はありませんので、出席状況が芳ばしくないものであっても、レポートが優れていれば、単位が付与されることがあり得ますし、逆に、出席状況がよくても、レポートが貧弱であれば、単位が与えられないこともあり得ます。

以下に示す指示は、厳守してください。以下の指示に従わない場合、大幅に減点することや、レポート未提出として単位を付与しないことがあり得ます。

### レポートは

- ・ 必須レポート
- ・ 選択レポート
- ・ 選択レポートに関する感想

から成っています。選択レポートは、課題A～Cのうち1題を選んでください。

レポートの表紙には、学生番号、氏名等とともに、選択レポート課題として選んだA～Cいずれかの記号を明記してください。

必須レポートの分量は概ね800字相当以上、選択レポートの分量は概ね3000字相当以上を期待しています。しかし、内容が充実していれば、これより少ない分量でも構いません。分量の上限は設けません。

さらに、選択レポート本体とは別に、選択レポートに関する感想を、概ね200字～400字程度にまとめてください。これは独立した課題です。

必須レポート、選択レポート、および、選択レポートに関する感想は、マイクロソフトWordの文書ファイル (.doc / .docx) か、PDFファイル (.pdf) で提出してください。A4判たて位置の白紙に印字した場合に読みやすくなるよう配慮されていることを前提に、一枚の用紙に印字する字数や、レイアウトは特に制限しません。

レポート本体と感想は、「必須レポート→選択レポート→選択レポートに関する感想」の順に一つの文書ファイルにまとめて提出してください。ファイルの名称は、学生番号と氏名とします。例えば、学生番号（クラス番号ではありません）が「22310000」で氏名が「青山 学」であれば、**22310000青山学.doc** （拡張子は.docxでも、.pdfでもよい）としてください。

レポートの提出は、7月29日正午を締め切りとします。

なお、万一の事故に備えて、レポートのデジタル・データを保存して、手元に控えておいてください。レポート提出後、万一事故があった場合や、成績発表後に成績照会が必要になる場合などには、レポートの再提出を求められることがあります。そのような場合、手元に控えが残っていないと救済措置を受けられない可能性が高いものと理解してください。

万一の際に直接迅速に連絡が取れるように、自分の連絡先となるメール・アドレスを事前に通告しておきたい場合は、レポートの末尾（選択レポートに関する感想のページの最後）に、連絡を希望するメール・アドレスを書いておいてください。これは、任意であり、義務ではありません。

---

レポートに関する質問は、「青山学院 音楽史A」という標題のメールにして、できるだけ早めに [yamada@tku.ac.jp](mailto:yamada@tku.ac.jp) まで送ってください。

なお、レポートとして提出された内容、特に授業に対する感想にあたる部分は、提出者の名前などを伏せて、山田が執筆する教育実践報告論文などで引用紹介する場合があります。あらかじめご了解ください。

必須レポート：概ね800字相当以上：

授業を受講し、印象に残った点について感想を述べてください。特に、授業をきっかけに自分で考えた内容や、授業に対して感じた疑問については、できるだけ具体的に述べること。

-----

選択レポート：概ね3000字相当以上：

(A)

まず、東谷護・編(2003)『ポピュラー音楽へのまなざし』勁草書房 所収の論文のうち、第2章以降から1つの章を選び、その執筆者が発表している音楽に関する論文や著作のリスト(書誌を明記した文献表)を作成しなさい。この部分は字数に入りませんが、必ず選択レポートの最初に置いてください。なお、音楽に関係のない論文や著書は挙げないこと。

その上で、その執筆者による2つ以上の論文や本(『ポピュラー音楽へのまなざし』所収論文を含めてよい)を関連づけ、その執筆者の研究について自由に論題を設定して自分なりの議論を展開しなさい。単なる研究の紹介ではなく、自分の考えを盛り込んでください。

ただし、『ポピュラー音楽へのまなざし』所収論文のうち、その執筆者による担当した章から、効果的な引用を1カ所以上、必ず織り込んでください。

(B)

ジャズの歴史に関する映像作品を1点視聴し、またその主題に関連する書籍を1冊以上読んだ上で、映像作品の内容を紹介し、論評する文章を書いてください。取り上げる映像作品は、ドキュメンタリー作品であっても、架空のドラマ作品であってもよいですが、上映時間が80分以上あるものに限りま

す。レポートの最初に取り上げる映像作品の詳しいフィルモグラフィ/ビデオグラフィを記し、どのような手段で視聴したのかも明記してください。また、関連する書籍の詳しい書誌も明記してください。

念のためですが、単なる感想文を求めているわけではありません。紹介し、論評する文章ですから、内容の要約とともに、自分の立場から見た意見、評価を盛り込んでください。特に、その映像作品が、どのような歴史観に立っているのかを批判的に検討し、それが表現内容にどう影響していると考えら

れるかを意識して、レポートを作成してください。また、関連する書籍が適切に活かされた記述になっているか否かも、採点のポイントになります。

(C)

1965年（昭和40年）以前に生まれた人にインタビューして、ポピュラー音楽を中心に、その人がどんな音楽体験をしていたか、詳しく聞き取りをして報告してください。ここでいう音楽体験には、音楽を聞いたり、歌ったり、楽器を演奏したりといったことすべてを含みます。その際、特に「ジャズ」については、どのように接する機会があったのか、何を聴いて（演奏して）いたのかなどを、詳しく話してもらうこと。

この課題を選ぶ場合は、対象者の氏名、生年、報告者との関係など、対象者の簡単なプロフィールと、インタビューをした日付、場所などを明記してください。また、実際にインタビューをしたかを確認するために、担当教員（山田）から連絡をとる可能性があることを対象者に告げ、許可を得た上で、対象者の都合のよい連絡手段（電話番号、メールアドレス、郵便送付先住所、のいずれか一つ以上）をレポートの最初に明記して下さい。対象者から、山田に連絡先=個人情報=を知らせることに了解が得られない場合、この課題は選択できません。

---

選択レポートに関する感想：概ね200字～400字程度：

課題A～Cの選択理由を説明した上で、レポートを書いた感想を述べてください。

---

以上、いずれのレポート・感想についても、引用・参照文献（ウェブページを含む）は書誌（URLなど）をきちんと記すこと。

引用範囲や出典を明示せずに他人の文章を切り貼りしてレポートに組み込むのは、盗用であり、剽窃行為です。このような行為が判明した場合は厳格な対応をとります。なお、この点については、**2003年度の音楽史Bのレポート**について述べた見解をご参照ください。

<http://camp.ff.tku.ac.jp/YAMADA-KEN/Y-KEN/ex-files/notice03.html#03AA>